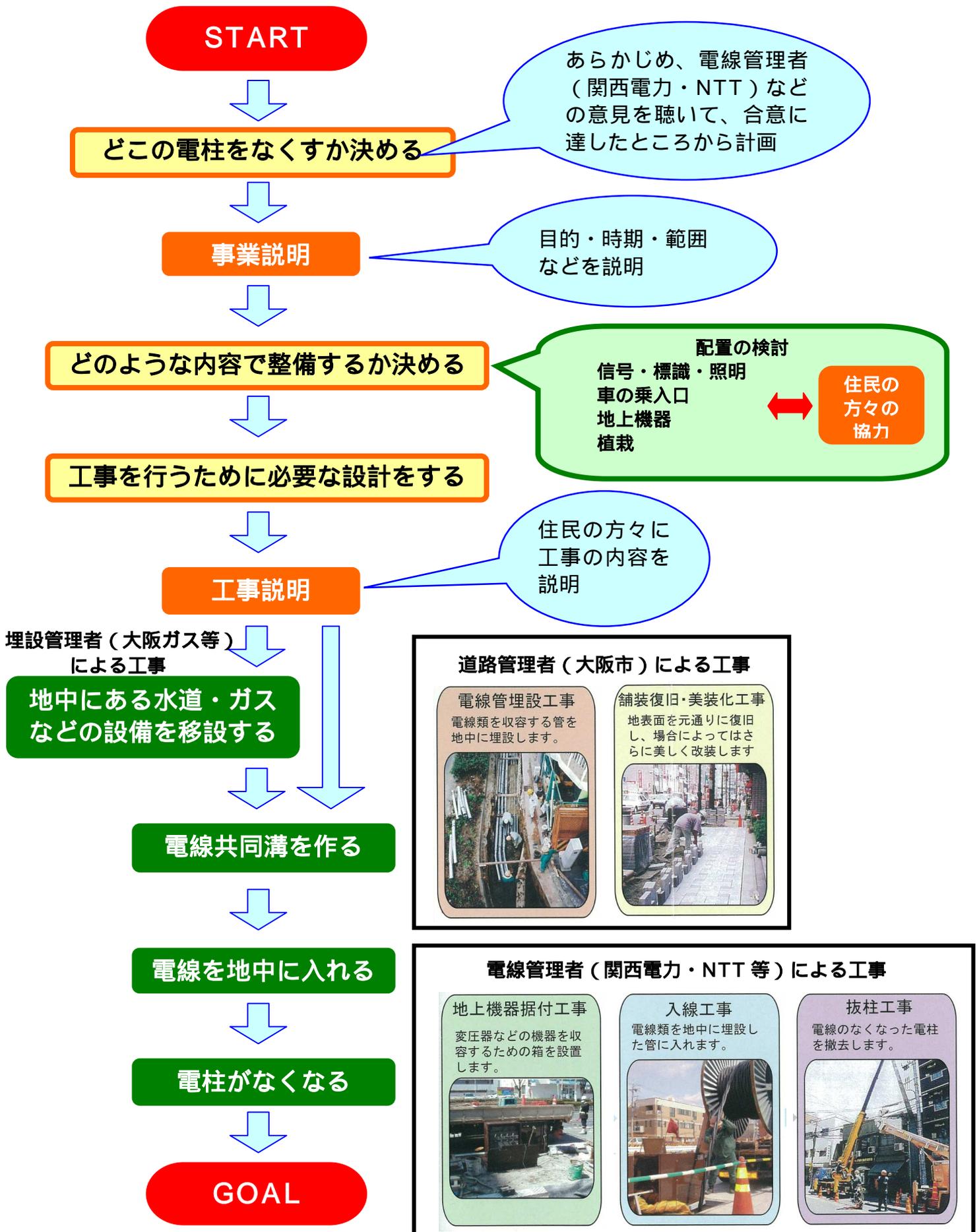


# ◇電線類地中化の流れ



# ◇電線類地中化について

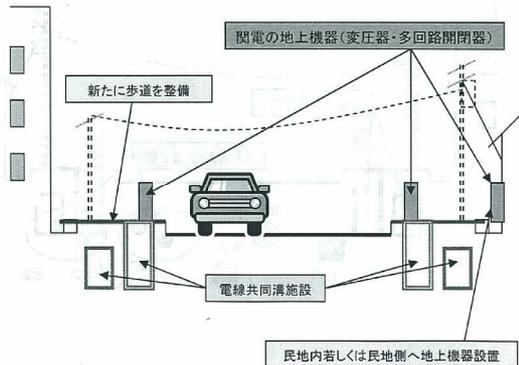
地域のみなさまからの電線類地中化の要望に対し、対象道路の現場調査（上空の電線類・地下の埋設物）を実施し、地理的条件の整理、技術的課題の検討、交通管理者（大阪府警）と電線管理者（関電・NTT等）への意見聴取を行い、地中化に対する地元要望の合意形成の熟度等を勘案し、事業化の可能性について検討を行います。その中で、特に電線類地中化を実施する条件として、下記の項目が挙げられます。

**電線管理者（関電・NTT・CATV・有線等）の同意が必要です。**

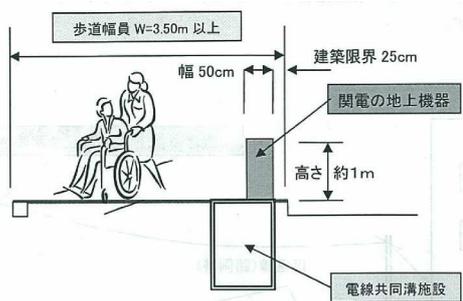
- 一般電気事業者：関西電力
- 第1種電気通信事業者：NTT西日本、KDDI、他12社
- ケーブルテレビ事業者：ケーブルエイト㈱、他2社
- 有線ラジオ放送事業者：キャンシステム㈱、他1社

電柱・電線管理者の同意

**歩行者と自動車が道路構造で明確に分離されていること。**



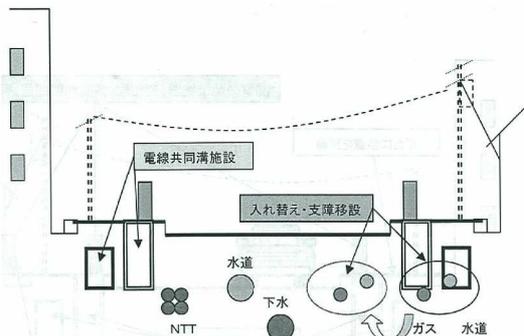
**新たに整備する歩道の幅員は 3.5m 以上とされています。**



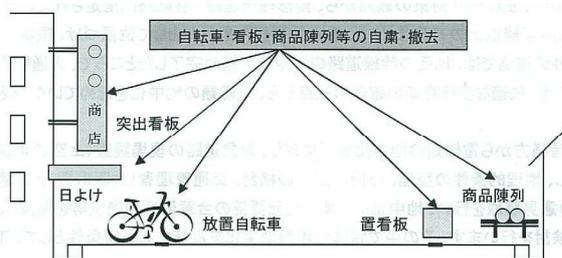
**地域や沿道住民、町会、商店街の方々の協働、協力が必要です**



**長期間におよぶ関連工事の実施**



**地域のみなさまによる道路使用の適正化の推進**



## 幹線道路以外（狭幅員道路等）における電線類地中化について

- 電線管理者の同意
- 地上機器の設置スペース確保、沿道関係者による承諾
- 地下埋設物による障害等が軽微
- 地元住民などによるまちづくりの積極的取り組み
- 官民協働による事業推進が可能